

(参考例)

島根県庁舎で発生した場合の消毒方法

新型コロナウイルスの感染経路

新型コロナウイルス感染症の感染経路は、「飛沫感染」と「接触感染」です。

- 飛沫感染・・・感染した人の咳やくしゃみのしぶき（飛沫）に含まれるウイルスを吸い込むことによる感染
- 接触感染・・・ウイルスが付着した手で目・口・鼻を触ることによる感染

消毒作業に準備するもの

- 消毒剤（アルコール又は次亜塩素酸ナトリウム）
- サージカルマスク
- 手袋
- ペーパータオル等
- ゴミ捨て用ビニール袋（消毒作業後のサージカルマスクやペーパータオル等を破棄するためのもの）
- 作業用の服（作業着、ジャージ等）

消毒剤

- 消毒用エタノール
- 次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤）

※次亜塩素酸ナトリウムを含む家庭用塩素系漂白剤の商品例としては、ハイター、ブリーチ、ピューラックス等があります。

塩素系漂白剤は用途に応じ、下記の表を参考に希釈して使用してください。
古くなった製品は効果が薄いので、ご注意ください。

塩素系漂白剤の希釈方法について（濃度約5%の製品の場合）		
★誤飲しないよう、ペットボトルに入れたまま保管しないでください		
用途	濃度	希釈方法
ドアノブ・手すり等	0.05%	1 Lの水道水に塩素系漂白剤を10ml（ペットボトルのキャップ軽く3杯分）を入れる
トイレ	0.1%	500mlの水道水に塩素系漂白剤を10ml（ペットボトルのキャップ軽く3杯分）を入れる

消毒方法

1 準備

- ・消毒するときは、十分に換気をしてください。
- ・塩素系漂白剤を吸い込んだり、直接手指についたりすることを防ぐため、マスクや手袋を着用してください。
- ・使用後のペーパータオル等を入れ、廃棄するためのビニール袋を準備してください
- ・正しく希釈した消毒液を作ります。作り置きしたものは効果がないため、その都度使い切るようにしてください。
- ・ぞうきんは使い捨てとにならないことから、汚染された場所を拭くには適さないので使用しないでください。
- ・誤飲の原因となるため、ペットボトルに入れたまま消毒剤を保管しないでください。

2 消毒方法

- ・消毒液を十分に含ませてしぼったペーパータオル等で、消毒する場所を拭いた後、乾拭きします。金属部分は腐食する可能性があるため、消毒液で拭いた後、水拭きします。
- ・拭き取りは同一方向に進み、後戻らないようにします。
(1回拭き取る毎にペーパータオル等は破棄して、使い回さないようにします。)
- ・スプレー式ボトルでの噴霧は、不完全な消毒やウイルスが舞い上がる可能性があるため避けてください。

3 消毒場所

手指がよく触れる場所を消毒します。

主な消毒場所一覧		
	場所	消毒場所
職 場	執務室等	ドアノブ、窓の取っ手、照明のスイッチ、ソファータ ーブル、椅子、電話機、コンピューターのキーボード とマウス等
職場の共用 部分	エレベーターや 階段	エレベーターの呼び出しボタン、停止階ボタン 階段の手すり部分
	建物の出入り口	建物の出入り口にあるドアノブ、ハンドル、セキリテ ィー対応のオートロックボタン等
	共用のトイレ 給水場所、洗面台 等	水道の蛇口、シャワーヘッド、洗面器、ドアノブ、 窓の取っ手、照明スイッチ、水洗便器と流水レバー、 便座とフタ、汚物入れ等

4 消毒後の注意

- ・消毒が完了したら、手をよく洗ってください。
- ・手荒れがあるとウイルスが残りやすいと言われていますので、ハンドクリーム等で手荒れを防ぐことも重要です。

個人防護具の着用に関する注意事項

【装着の順番】

手洗い → 作業着等 → マスク → 手袋

【外す順番】

手袋 → 手洗い → 作業着等 → マスク → 手洗い

手袋

【手袋着用に関する注意事項】

- ・ 使用後の汚染された手袋で周囲の物品等に触れない。
- ・ 手袋を外す時には、汚染面を素手で触れない。
- ・ 手袋を外した後は、必ず石けんと流水で手を洗う。（補助的にアルコール消毒液で手指消毒を行う。）

【手袋外し方】



マスク

【マスク着用に関する注意事項】

- ・着用する際は、口と鼻をしっかりと覆う

【外し方】

- ①汚染面に触れないよう、イヤーループ（ひもの部分）を持って外す。
- ②汚染したマスク表面に触れないように用意したゴミ捨て用のビニール袋に破棄する。
- ③破棄後に手を洗う。

ゴミ捨て用ビニール袋

【ゴミ捨て用ビニール袋の取扱いに関する注意事項】

- ・使用済みのペーパータオル、手袋及びマスクを破棄したゴミ捨て用ビニール袋は2重にしてしっかりと口を結ぶ。